

氷川神社  
社報 第二十四号

# 武蔵一宮



令和癸卯



# 御鎮座二千五百年を見据え

令和五年癸卯<sup>みづのう</sup>の年頭にあたり、謹んで聖寿の万歳と御皇室の弥栄、国家の隆昌、そして皆様方の御多幸をお祈り申し上げます。



さて、当社は第五代孝昭天皇の御代三年に御鎮座以来、悠久の年月を経て、来る令和十年に御鎮座二千五百年を迎える事となります。これを奉祝周知する為、有志の方の御奉納により、約四〇〇灯の提灯を献灯し、十一月三十日に点灯式を行いました。

当社の献灯行事は、平成二十九年の明治天皇御親祭百五十年祭の奉祝に始まり、以後、上皇陛下の天皇御在位三十年奉祝、今上陛下御即位奉祝と重ねて参りました。

今般は楼門前のみの実施を想定し限定的な献灯となりましたが、これよりは年々、賑々しくして参りたいと存じますので御協賛の程、宜しくお願ひ申し上げます。

# これまでの献灯行事



令和元年 天皇陛下御即位奉祝



平成29年 明治天皇御親祭150年祭奉祝



令和2年 疫病退散祈願新年奉祝



平成30年 天皇陛下御在位30年奉祝

祭事曆

当社では毎日の日供祭以外にも年間約七十の祭典を行い、謹んで皇室の弥栄と国家安泰、五穀豊穡と氏子崇敬者の繁栄を祈願しております。また十二月十日の十日市は約二十万人の人数で賑いました。

- 十月 一日 月次祭
- 九日 抜穂神事
- 十五日 献詠祭 (兼題 きりぎりす)
- 十七日 神嘗奉祝祭
- 二十一日 朔瓶祭
- 十一月 一日 月次祭
- 三日 明治祭
- 十五日 献詠祭(兼題 昴)
- 二十三日 新嘗祭
- 三十日 敬神講社大祭
- 十二月 九日 大湯祭前斎
- 十日 大湯祭本祭
- 十一日 大湯祭後斎
- 十五日 献詠祭(兼題 大掃除)
- 併せ煤払い
- 三十一日 大祓式
- 除夜祭

なぜ初穂料というのか

初穂とは稲の収穫時に、最初に奉獻する稲穂の事で、早穂、先穂とも記します。稲穂を抜いて束ねたもので、脱穀した米粒の和稲(にぎしね)の荒稲(あらしね)の類です。伊勢の神宮では神嘗祭(かんなめさひ)に先立つて抜穂祭が行われますが、当社でも十一月の新嘗祭(にいなめさひ)に先立ち、十月に抜穂神事(ぬきほしんじ)を行います。

初穂の形状は稲穂から米粒に変わりましたが、はじめて獲得した収穫物など、神前に捧げる初物すべてを総称するようになりました。

初穂料はお米の代わりにお供えされる料の事で、神社に納めるお金はすべて初穂料といえます。尚、お供え物やご祈禱を受ける際、熨斗紙に御神前や玉串料、御禊料と書く事も一般的な書き方になります。



抜穂神事神饌



新嘗祭 祈願文を読み上げる講長

新嘗祭 奉納御礼

(敬称略、順不同)

- 御米 島根水川神社
- 鳥村功作
- 水のフォルム
- 清酒 藤野泰功
- 野菜果物 阿泉秀典
- 小豆 (株)木下製館

大湯祭 奉納御礼

(敬称略、順不同)

- 百味膳 三峯神社
- 秩父神社
- 七里敬神講社
- 埼玉県南部
- 漁業組合
- 清酒 (株)中村写真館
- (株)電成社
- (株)丸三屋
- (有)春光社印刷
- 清水伸洋
- 星野昇保
- (有)西一
- (株)和泉空調設備
- 大村庵
- 西山建設(株)
- サントリーホール
- サントリー酒類(株)
- サントリー酒類(株)
- 埼玉支店

- 御米 星野昇保
- 森田栄治
- 大谷水川神社
- 氏子中
- 蓮沼菅原神社
- 氏子中
- 鳥・果物 (株)みどり建設
- 海産物 平野貞祐
- 菓子 よね屋煎餅店
- 藤野泰功

社頭往来①

氏子総代研修旅行

十月三日、四日と氏子総代研修旅行を実施、二十三名が参加致しました。遠江国一宮小國神社を正式参拝の他、三河国一宮砥鹿神社参拝、航空自衛隊浜松広報館エアーパークなどを見学致しました。



※小國神社では

小國神社は天皇陛下御即位記念として令和のお屋根替えの最中でしたが、檜皮葺きの御本殿を待合室から御拝殿へ続く廊下より拝する事が出来ました。



氏子青年会関東地区大会



十月八日、全国氏子青年協議会関東地区連絡協議会研修会埼玉大会が開催されました。大会に先立ち、東京都氏子青年協議会会長で大宮八幡宮氏子青年会会長の井川邦夫様他、各県の氏子青年会会員約七十名が正式参拝を行いました。



マンリオ・カデロ氏の講演

大会はさいたま新都心のザ・マークグランドホテルで行われ、神宮遥拝や国歌斉唱、教育勅語奉読、来賓挨拶などの他、サンマリノ共和国特命全権大使で駐日外交団長のマンリオ カデロ氏に「世界から見た日本と神社」と題して記念講演を頂きました。

懇親会では小野八幡神社権禰宜で歌手の涼恵氏のコンサート、秩父屋台囃子保存会によるお囃子が行われました。



涼恵氏のコンサート

特別紙朱印「紅葉」

十月八日より秋の特別紙朱印「紅葉」の授与を開始、十一月二日に授与を終了致しました。



社頭往来②

大宮アルディージャVENTUS  
必勝祈願

十月十日、大宮アルディージャVENTUSが2022-23シーズンの必勝祈願を行いました。代表取締役社長佐野秀彦様、フットボール本部長原博実様、岡本武行監督、乗松瑠華キャプテンはじめ選手・スタッフ一同が参加し、今シーズンの飛躍を祈願しました。



写真提供：大宮アルディージャ

観月稚演演奏会

十月十一日、舞殿にて観月稚

楽演奏会を開催致しました。

演奏曲目

- ・ 神楽 浦安の舞
- ・ 管弦 平調音取、越殿楽、陪臚
- ・ 舞楽 迦陵瀨



迦陵瀨

第2回ポリオ根絶チャリティー  
クラシックカーラリー

十月二十三日、国際ロータリー第2770地区大宮ロータリークラブ主催で、第2回ポリオ根絶チャリティークラシックカーラリーが開催されました。当社をスタート地点として大宮、川越、秩父を巡りました。



北足立支部大麻頒布式



十月二十七日、祈禱殿にて埼玉県神社庁北足立支部の神宮大麻頒布式が行われました。新田祢宜が斎主を務め、支部長の吉田正臣様(調神社宮司)はじめ神職、総代約四十名が参列致しました。

水川参道物産展

十月二十九日、三十日、参道にて埼玉県物産観光協会が埼玉県酒造組合と共催し、県産品や地酒を集めた物産展「私のお気に入り」発見フェスPRIDE埼玉」を開催致しました。



社頭往来③

武蔵菊花会奉納菊花展

十一月一日より十五日まで武蔵菊花会による第七十二回奉納菊花展が開催されました。楼門内外の廻廊や舞殿などに丹精込めて育てられた様々な菊、約三百八十鉢が展示されました。



七五三

七五三詣は本年も混雑を避けた分散傾向にありましたが、一万組に近い方がお参りされました。皆様の健やかな御成長を祈念致します。



大宮華道連盟献華展

十一月十九日、二十日、楼門内廻廊にて大宮華道連盟による献華展が開催され二十三杯が展示されました。

献華を頂いた先生(敬称略)  
桂古流 細田好草、



- 波田野敦華、
- 小林華侑、高橋典花
- 古流松藤会 岩波理豊
- 草月流 松野朱世、水口秀香、
- 池坊明流 竹下尚峰
- 池坊 小澁恭園
- 長島晶園
- 小原流 別所睦翠
- 春草流 西島春溪、栗原春彩
- 正風流一光会 桐生一光
- 桂古流桂会 岩井蘭香
- 古流松東会 清水理秀

さいたまYEGの日

十一月十九日、参道及び境内でさいたま商工会議所青年部による「地域の熱い未来へ 交流を楽しもう! YEGの日」が開催されました。むかしあそびコーナーや「さいた○○(まるまる)クイズ選手権」の他、大宮グルメが集結する氷川マルシェの出店もありました。

- 日本古流 加藤一紀
- 嵯峨御流 町田裕甫
- 遠州流 守屋一陽
- 古流かたばみ会 小原理晴
- 吉野御流 前田嘉祥
- 池坊宝生流 高野玲光
- 華風風花会 伊坂真苑



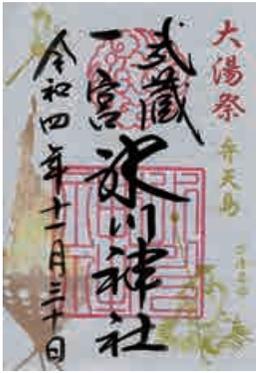
社頭往来④

無双直伝英信流阿字会奉納演武

十一月二十日、正式参拜の後、無双直伝英信流居合兵法阿字会井本忠昭阿字齋他会員による奉納演武が行われました。



大湯祭新年縁起物授与開始



十一月三十日より大湯祭授与品、特別紙朱印「大湯祭(金・銀)」、令和五年縁起物の授与を開始致しました。



大麻頒布式

十二月一日、社務所にて氏子総代の皆様にお集まり頂き、神宮大麻頒布式を執り行いました。



酒造組合祈願祭

十二月六日、境内の松尾神社前にて酒造組合祈願祭が埼玉県酒造組合会長の(株)小山本家酒造代表取締役会長小山景市様、(株)小山本家酒造執行役員社長鈴木一陽様、大瀧酒造(株)代表取締役社長大瀧榮壽様、北西酒造(株)代表取締役北西隆一郎様参列のもと執り行いました。



縄文三味線



十二月六日、正式参拜の後、拝殿にて縄文三味線奏者の佐々木重吉氏による奉納演奏がございました。

さいたま市職場体験

さいたま市中学生職場体験事業「未来くるワーク体験」で十二月七日から九日まで土呂中学校の生徒二名を受け入れました。同じく、十二月十三日から十五日まで植竹中学校の生徒三名を受け入れました。境内清掃や御札の授与、豊栄の舞の練習などを行って頂きました。



土呂中学校  
12/7~12/9



植竹中学校  
12/13~12/15

社頭往来⑤

稲荷神社鳥居奉納奉告祭

十二月十二日、境内の稲荷神社にて鳥居の奉納をされた株式会社エバンス蔵店様参列のもと、奉納奉告祭を執り行いました。



すす払い



十二月十五日、献詠祭終了後に本殿や拝殿、楼門などのすす払いを行いました。この日まで職場体験をされていた植竹中の生徒にも御奉仕頂きました。

古神札焼納祭

十二月十五日、納められた御守り、御札をお焚き上げる古神札焼納祭を執り行いました。



武蔵菊花会表彰式

十二月十七日、呉竹荘にて武蔵菊花会の表彰式が行われました。来賓として衆議院議員の牧原秀樹様、村井英樹様、枝野幸男様、県議会議員の田村琢実様、市議会議員の西山幸代様に出席頂きました。

令和四年水川神社宮司賞(敬称略)  
・「優杏漁火」 茂呂尚佑

・「岸の清涼殿」

石井康友

・「太平銀月」

吉田勝美

・「精山春姫」

佐藤昭次

・「精興瑞堅」

蓑輪博男

・「国華金山」

川鍋辰雄

・「黄虎」

鈴木 旭



五色百人一首大会



十二月十八日、社務所にて白岡わくわく伝承あそびの会主催の五色百人一首埼玉県大会が開催されました。参加者は県内各地よりの幼稚園児から中学生まで約五十名でした。

書元会廻廊展示

十二月三十一日より一月五日まで書元会による書道約三百点の廻廊展示が行われました。小学三年生から中学三年生までの会員の作品で「しぜん」、「なの花」、「明るい声」、「緑の大地」、「書の文化」、「満天の星」、「豊かな感性」が兼題となりました。



# 戦艦武蔵竣工八十年記念顕彰祭斎行



十月二十四日、戦艦武蔵顕彰碑前にて戦艦武蔵の竣工八十年を記念し、戦艦武蔵顕彰会の二代目会長の三原宏治様はじめ会員五十名参列のもと顕彰祭を行いました。祭典中には浦安の舞の奉奏、甲飛喇叭隊のラッパ演奏が行われ、祭典後には歴史学者の久野潤氏による艦内神社についての記念講演が行われました。

**武蔵神社(艦内神社)**  
御祭神 水川神社  
明治神社  
東郷神社  
※伊勢神宮

※大正九年に戦艦伊勢が神宮から特別な別大麻を頂いてからの慣例でどの艦にも奉斎。

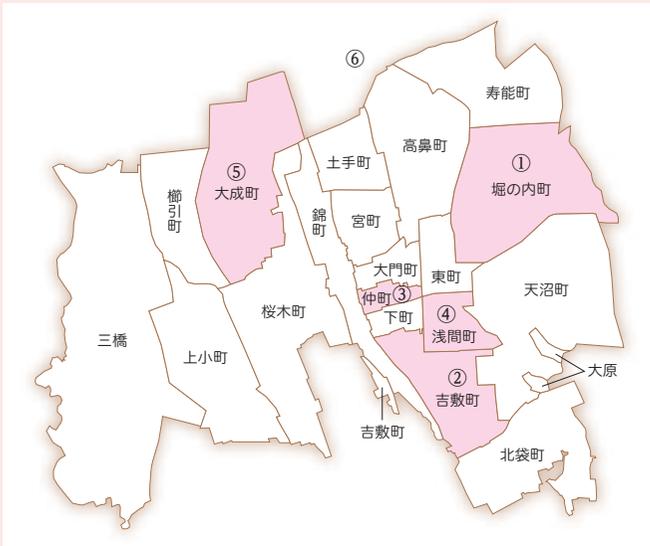
昭和十九年(一九四四)十月二十四日、戦艦武蔵はフィリピン沖のシブヤン海に没しました。全長263mの巨艦に46cm砲を搭載した世界最大にして最強の武蔵は戦艦大和の同型艦です。武蔵は戦前の乏しい国民生活の中で、それでも独立を保つべく我が国の建艦技術の総力が集大成された傑作であり、関係者の魂の込められた最後の希望でした。

米英に対し、絶対国力に劣る我が国は巨大な大砲を持つ不沈の戦艦を造り、量の劣勢を質でカバーしようと考えました。戦前はアメリカといえども大西・太平洋洋艦隊を整備する事は容易の事ではなく、その艦隊は艦巾33mのパナマ運河を通り出来る事が条件でしたので38、9mの大和・武蔵の艦巾でしか搭載できない46cm砲に我が国の優位が生まれるはずで、先制攻撃により勝利への活路を見出そうとしたのです。

武蔵は昭和十三年三月から長崎で起工されていますが、諸準備は昭和七年八月から始まりました。進水式は昭和十五年十一月で進水に使用された獣脂は約22tにもなりました。その後、呉に回航、竣工式は昭和十七年八月五日に武蔵艦上で、当社から出向した六名の神職により行われました。

華々しい活躍を期待された武蔵でしたが竣工二カ月前のミッドウェイ海戦敗北により、我が国は数隻の主力航空母艦と多くの飛行機、歴戦のパイロットを失いました。これにより武蔵の出撃時期は米主力艦隊との決戦まで待つ事となりました。しかし、武蔵が待ち続けた決戦の機会は遂に来ず、翌十九年の上陸作戦では囮の役目を負う事となったのです。五次にわたる空襲の中、魚雷二十一、爆弾十七、至近弾十八を浴び十九時三十五分、水深1,200mの海底に沈没したのです。

地域の氏神社紹介 ⑥



① 大宮稲荷神社(白山神社内)  
さいたま市大宮区堀の内町  
3月初午祭



⑥ 植嶽稲荷神社  
さいたま市北区盆栽町  
9月例祭



④ 浅間稲荷神社(浅間神社内)  
さいたま市大宮区浅間町  
3月初午祭



② 檜姫稲荷神社  
さいたま市大宮区吉敷町  
3月初午祭



⑤ 躑躅山稲荷神社  
さいたま市大宮区大成町  
2月初午祭



③ 倉屋敷稲荷神社  
さいたま市大宮区仲町  
3月初午祭

当社は武蔵国の一宮として広く守護しておりますが、当社以外にも古くから「村の鎮守」、地域の氏神様として祀られている神社がございます。さいたま市内にも多く稲荷神社が祀られており、二月や三月の初午の日には初午祭の奉仕に当社神職が出席しております。

初午の日が選ばれるのは、京都の伏見稲荷大社の御祭神である宇迦之御魂神(倉稲魂神)が、和銅四年(七一)の二月初めの午の日に、現在の本社のおにそびえる三ヶ峰の山上に降臨されたことにちなみます。

稲荷神は、天慶五年(九四二)には神階が「正一位稲荷大明神」となります。

伏見稲荷以外の神社の分霊勧請では、社名のみで神階が付く事はありませんが、伏見稲荷からは社殿の大小に関わらず極位の付いた神社を祀る事が出来た為、近隣の神社と比べて優越感を得る事が出来た事から伏見稲荷からの分霊勧請が盛んに行われました。個人宅まで含めると稲荷社は全国で三万社にのぼるといわれています。

埼玉県内の神社は埼玉県神社庁のホームページで検索頂けます。



<http://www.saitama-jinjacho.or.jp/search/>



新宿調理師専門学校様

- ・阿含宗埼玉道場
- ・大宮明るい社会づくりの会
- ・新宿調理師専門学校
- ・高鼻二丁目友の会
- ・パースルテンプスタッフ株式会社
- ・(さいたま市ジョブアシスト事業)
- ・みずほ証券株式会社大宮支店
- ・武蔵コーポレーション株式会社

参道清掃奉仕御礼

参道の清掃活動を頂きました皆様  
の芳名を紹介し、謹んで御篤志に感  
謝申し上げます。(五十音順、敬称略)



十月の奉納献華

- |        |      |
|--------|------|
| 古流松藤会  | 岩波理豊 |
| 桂古流    | 小林華侑 |
| 桂古流    | 高橋典花 |
| 正風流一光会 | 桐生一光 |
| 春草流    | 栗原春彩 |

※11月は大宮華道連盟献華展開催の為中止



十二月の奉納献華

- |       |      |
|-------|------|
| 古流松藤会 | 岩波理豊 |
| 池坊草月流 | 草谷智花 |
|       | 沖山草俊 |
| 桂古流   | 小林華侑 |
| 桂古流   | 高橋典花 |
| 草月流   | 竹下尚峰 |

「開運埼玉神社めぐり #百聞は一詣にしかず」



「開運埼玉神社めぐり #百聞は一詣にしかず」は埼玉  
県神社庁監修のもと、インスタグラムとフェイスブック  
で県内神社の情報を発信する取り組み  
で、テレビ埼玉の「情報番組マチコミ」  
で連動企画として放送しております。  
当社紹介動画は12月19日に放送、  
YouTubeでも配信されております。



正式参拝及び諸会議

(敬称略)

- |       |                 |
|-------|-----------------|
| 十月一日  | お正月・十日市交通安全対策会議 |
| 九月    | 武蔵野銀行奉納奉告式      |
| 二十日   | 水川蛸の会           |
| 二十一日  | 無双直伝英信流兵法阿字会    |
| 二十七日  | 武蔵菊花会表彰式事前打ち合わせ |
| 十一月一日 | 埼玉県神道青年会臨時総会    |
| 九日    | 三嶋大社境内末社祓戸神社氏子会 |
| 二十日   | 武蔵菊花会表彰式        |
| 六日    | 秩父ファミリーズファクトリー  |
| 六日    | 縄文三味線佐々木重吉      |
| 八日    | 全国神恩報賽会         |
| 十一日   | 参道清掃奉仕会ワガクリーナース |
| 十二日   | 水川丸船長大内孝利       |
| 十七日   | 武蔵菊花会           |
| 十八日   | 武蔵菊花会表彰式        |
| 二十日   | 白岡わくわく伝承あそびの会   |
| 二十三日  | 新能会議            |
| 二十三日  | 立正佼成会大宮教会       |
| 二十三日  | 責任役員会           |
| 三十日   | (株)武蔵野銀行頭取長堀和正  |
| 十月二日  | 杉田八幡宮(神奈川県)     |
| 八日    | 國學院大学若木育成会埼玉県支部 |
| 八日    | 氏子青年会関東地区連絡協議会  |
| 九日    | 武蔵菊花会菊花展        |
|       | 開催準備打ち合わせ       |
| 十日    | 武蔵菊花会菊作り研修会     |
| 十日    | 大宮アルデー・ジャVENTUS |
| 十一日   | 観月雅楽演奏会         |
| 十二日   | 宮城県神社庁仙台支部・総代会  |
| 二十三日  | ポリオ根絶チャリティー     |
| 二十三日  | クラシックカーラリー実行委員会 |
| 二十七日  | 戦艦武蔵顕彰会         |
| 三十日   | 北足立支部大麻頒布式      |
| 三十日   | 生部町水川神社(福井県)    |

埼玉県神社庁事業

「神主さんと神社を学ぼう」

令和元年まで境内で開催されておりました埼玉県神社庁主催のイベント、「神主さんと神社を学ぼう」が四年ぶりに開催されます。

県内約二百社の御朱印展や祓詞浄書体験、雅楽演奏会など様々な企画を御用意致します。

また参道にて露店が並ぶ氷川マルシェも同時開催されます。

神主さんと神社を学ぼう

日時 令和五年三月二十六日(日)

会場 氷川神社境内

(社務所・神楽殿・本殿西側待合所)



神主さんと神社を学ぼうの詳細は  
埼玉県神社庁のホームページを御覧下さい。



第二十五号は四月十五日発行予定です



御朱印紙「花しづめ」



咲守



御力守



仕事守



新規御守、数量限定御守、  
春の特別紙朱印

この度、新たに「仕事守(初穂料700円)」を奉製し、1月1日より授与を開始致しました。新年の数量限定お守り「御力守(1500円)」は1月1日から授与開始、また、春の数量限定お守り「咲守(1000円)」、数量限定紙朱印「花しづめ(500円)」は3月18日から授与を開始予定です。

ホームページ



Instagram



Twitter



発行 令和5年1月15日 発行所 氷川神社社務所

写真協力 宮野信昭 中村写真館 工藤裕之 印刷所 株式会社 秀飯舎

さいたま市大宮区高鼻町1-407 電話 048-641-0137 <https://musashiichinomiya-hikawa.or.jp>